

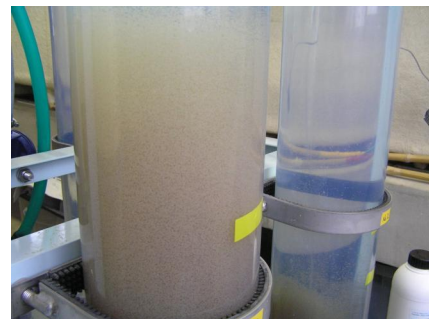
内水試 News !

H22.3.8

かわら版 Contents

ワカサギの豊かな
牛久沼をめざして

牛久沼漁協の皆さんと人工採卵の実習を行いました



内水試では場内池でワカサギを継代飼育しています。今年も継代ワカサギの人工採卵作業が2月25日から始まりました。3月中旬まで飼育ワカサギの産卵成熟の調査とあわせて採卵を行います。3月4日には、初めて牛久沼漁業協同組合の代表の方々にも参加していただき、人工採卵作業の実習を行いました。牛久沼は首都圏に近いワカサギ釣り場として人気のスポットとなっています。例年、牛久沼漁協ではワカサギ資源の増殖のためワカサギ卵の移植放流を行っていますが、今後は牛久沼のワカサギでの人工採卵にも取り組みたいとのことでした。漁協の皆さんにはワカサギのオスメスの見分け方や成熟未熟の判定、湿導法による人工受精や受精卵をシュロ皮に付着させる一連の作業を体験して頂きました。内水試では今後心化まで約1ヶ月間、卵のついたシュロの木枠は束ねて水中に垂下し管理するほか、受精卵の粘着性を除去した卵管理方法を取り入れて流水中のタンクでも管理する受精卵管理の改良試験に取り組んでいきます。牛久沼漁協でもワカサギ資源の増殖活動が順調に進むことを期待しています。

お問い合わせ 茨城県内水面水産試験場(増殖部) TEL 0299-55-0324